

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)クオス藤沢本町 新築工事	階数	地上7F
建設地	藤沢市藤沢3丁目 5714-2、-6	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	119 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年9月 予定	評価の実施日	2016年9月20日
敷地面積	1,203 m ²	作成者	(株)イクス・アーク都市設計
建築面積	591 m ²	確認日	2016年9月21日
延床面積	2,620 m ²	確認者	(株)イクス・アーク都市設計

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 76%
③上記+②以外の 76%
④上記+ 76%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合	各住戸に開口部を大きく設け室内環境を向上させる等、良質な建物となるよう計画した。	0
Q1 室内環境	屋光率、界床遮音性能において高い性能を確保し、F☆☆☆☆の建材を採用することで、室内環境の向上に努める。	Q3 室外環境(敷地内) 外構において、緑化による良好な環境を形成している。また、防犯カメラの設置による防犯対策や建築設備の排熱についても配慮をすることで、室外環境の向上に努める。
LR1 エネルギー	エネルギー消費の効率化についての配慮に努める。	LR3 敷地外環境 日影や光害等が周囲へ悪影響を及ぼさないよう努めた。
Q2 サービス性能	住宅性能評価における劣化対策等級3を取得。Gbitクラスのブロードバンドを利用可能としており、建物のサービス性能を高めている。	
LR2 資源・マテリアル	GL工法等を採用することで、資源、マテリアルについての配慮に努める。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される